

東日本大震災 姫路医療生協支援ニュース 7号

2011年4月18日 17時発行
姫路医療生協災害対策本部

◎ 野邑・安東の2名が被災地に入りました

第2次支援隊の2名は4/16(土)に姫路を出発し翌17日坂総合病院へ到着しました。
現地から4/17(日)の報告が届いていますので紹介します。

《野邑看護師》

総勢24名で9時に東京を出発。バス乗車時にマスクとヨウ素剤を渡されました。
坂病院到着後の説明では外来および当直、避難所まわり、地域訪問が主な業務だ
そうです。避難所では高血圧や精神的ケアの必要な方が多く、また外見上正常な
家屋でも内部の被害があるとミーティングでは報告されていました。支援者の食
事は3食確保してくださっています。

私は明日午前が病院で午後が避難所、安東さんは終日避難所が担当になりました。
2人で被害状況を見に行ったところコンビニ・飲食店・GSなど開いているところ
も多くあり、街の機能はある程度戻っていました。しかし少し離れると津波の爪
痕がまだまだ残っています。



《安東介護福祉士》

夕方のミーティングによると現在大きな混乱は無いようですが、隣の気仙沼市は依然としてよく
ない様子です。明日からの任務は避難所での介護になりそうです。

街はあまり活気がないもののマックスバリュも営業しており物資で困ることは無いようです。清掃
はされていますが自動車やトラックなどは撤去が追いついておらず、イオンのショッピングモール
など大型の建物は復旧しきれっていませんでした。明日からの任務も頑張っていきたいと思
います。

◎ 5月の県連支援スケジュールが大きく変わりました

4/15(金)の全日本民医連理事会にて5月の人的支援について方針が示されました。
前回方針よりも大幅に縮小され、兵庫はすべてが5/22(日)~31(火)の担当に変わっています。

| | |
|-------|------|
| 医師 | 1名 |
| 看護師 | 2名 |
| 事務その他 | 1名 |
| 介護 | 別途扱い |

**姫路へは県連看護委員会から
5/27(金)~31(火)1名の
看護師支援要請が届きました**

また週末を利用した地域訪問・相談活動の集中支援も予定されています。職種は問われておらず、
兵庫は5/26(木)出発5/29(日)帰着の便が担当です。

東日本大震災義援金 1,403,340円 (4/18 9時現在)